

発行
福井県大野市天師町1番1号
大野市役所
(企画室広報係)
電話(代) 6-1111
郵便番号 912
印刷 松浦印刷所



出生	男 25	女 10	計 35
死亡	〃 17	〃 9	〃 26
転入	〃 63	〃 65	〃 128
転出	〃 91	〃 76	〃 167
世帯数			9,933
人口			43,135
男	20,671	女	22,464

西谷村との合併準備本格化

正式合併は来年の見通し

真名川ダムの建設で全村が水没、移住する西谷村(山本満村長)との合併準備をいよいよ本格的に進めることになりました。9月の大野市定例議会・西谷村臨時議会において、大野市と西谷村の合併促進を図る「大野市西谷村合併協議会規約」および同協議会の設立が承認され、この規約に基づいて、両市村が合同して合併事務を行ないます。

この協議会は、大野市長・西谷村長・大野市助役、両市村の収入役・教育長と西谷村総務課長および両市村議会の正副議長と議員ら34名の委員(大野市19名、西谷村15名)で構成され、1.合併に必要な調査研究、2.合併に伴う大野市建設計画の作成、3.合併に関する協議一などの

事務に取り組みます。

事務所は大野市役所内に置き、経費は両市村で負担することになっています。

第1回の協議会は10月上旬開会の予定で、以後何回も協議を重ね、両市村議会で合併を決議し、正式に合併するのは来年の見込みです。

大野市へ移住される西谷村民の方は、全世帯の64%に当たる148世帯545人の予定で、篠座、春日町に多くなっています。

真名川流域防災のためのダム建設で犠牲となられる西谷村民の方をあたたく迎え入れてあげたいものです。(写真は建築すむ西谷村民の住宅、篠座町で)

真名川流域防災のためのダム建設で犠牲となられる西谷村民の方をあたたく迎え入れてあげたいものです。(写真は建築すむ西谷村民の住宅、篠座町で)



■ 財政再建計画を変更

今回の第3次変更計画は、物件費などの消費的経費の節減につとめ、建設的事業費の充実を図ったもので、本年度において7,261万円を増額、建設事業費は3億8,137万円となりました。

また8年間で赤字を解消する計画になっていますが、消費的経費の抑制と経済成長に伴う税収入の自然増により、1年間短縮できる見込みが明らかになりました。

■ 印鑑条例を改正

印鑑登録及び証明に関する条例が改正され、登録者には印鑑手帳を交付することになりました。

印鑑証明を受ける場合は、これまでの印鑑(実印)のかわりに印鑑手帳を添えて申請することになり、手書きでなく複写機で作成した印鑑登録証明を交付します。実施時期は、昭和45年4月1日からです。それまでに必要な手続きについては、改めてお知らせします。

一般会計 4,919万6,000円を追加

9月定例市議会開く

第113回大野市定例議会は、9月22日から27日までの会期6日間で開かれ、一般会計補正予算案、印鑑登録及び証明に関する条例案など23議案が上程され、審議の結果いずれも原案どおり可決承認されました。議会の冒頭で故野尻議員のご冥福を祈り、一分間の黙とう、追悼演説がありました。主な内容は、次のとおりです

■ 一般会計補正予算

新らしく4,919万6,000円を追加し、予算の総額は13億3,563万円となりました。補正予算の主な内容は次のとおりです
議会費 議員報酬の増額など128万4,000円、議長4万5,000円、副議長4万円、議員3万5,000円となりました。

総務費 特別職の給与増額49万5,000円。市長13万5,000円、助役11万円、収入役10万円となりました。これは特別職報酬等審議会の答申によるものです。

農林業 センサスなど統計調査費120万8,000円。

民生費 新設された重症心身障害者の福祉手当として78万円。春日3丁目に建設する児童館の建設費606万8,000円。ね

たきり老人の寝具費9万3,000円。

農林業費 農業祭の費用30万円。里イモ、イチゴなど特産農産物育成事業38万円。農用水路整備費502万5,000円。

土木費 道路の小修繕工事費300万円。道路補修の砂利購入費200万円。石燈籠線などの舗装工事費170万円。橋の補修工事費75万円。一般小河川の補修工事費135万円。北部都市計画の調査費100万円。市全体の都市計画図作成費87万円。

消防費 小型ポンプ購入費19万円。消防団員の報酬増額の費用25万7,000円。

教育費 有終南小学校などの給食施設充実のための費用123万5,000円。社会体育の振興費38万6,000円。

ますますお元気で 市長が米寿者を慰問

9月15日の敬老の日になんで、市長が16・17日の2日にわたって、ことし中に満88歳を迎えられる明治14年生まれの横平岩松さんから29名の自宅を慰問しました。記念状とはだぶとんを贈り、米寿をお祝いするとともに、今後も健康に留意されてますます長生きしてくださいと励ましました。

のら仕事や針仕事をするなど、まだ元気な方が多く、この慰問を大変喜んでおられました。

また特別高齢者5名には、県知事から金杯と記念状が贈られました。

市内の最高齢者は、牛ヶ原の市地ますきんで明治5年生まれの満97才です。

米寿を迎えられた方は、次のみなさんです。

横平岩松(日吉町)、木部豊吉(同)、島田まさ(高砂町)、中川つね(春日2)、石塚さき(同)、木戸慈観(春日3) 酒井登よ、酒井梅吉、吉田新作(以上和光園)、榎本津弥、吉田三三、中村三太郎(以上聖和園)、杉本タケ(千歳)、安川くま(榎)、笹島かる(上)

教育委員に 池田伍一氏

議会

前教育委員宇野治一氏の後任に、池田伍一氏(53歳、錦町)を任命するため議会の同意を得ました。

公平委員に 桑野和夫氏

10月6日任期満了の現公平委員桑野和夫氏(66歳、日吉町)が議会の同意を得、再任されました。

人権よう護委員に 松田操氏

8月31日任期満了に伴う人権よう護委員に現委員の松田操氏(65歳、下堀)を再び候補者として法務大臣に推薦するため議会の同意を得ました。

重症心身障害者の保護者に 月1,000円の手当を支給

重症心身障害児(者)等福祉手当支給条例が制定され、身体及び精神に重症の障害を有し、日常生活が自分自身でできない方で、一定の条件にあてはまる方を監護している保護者に対して月額1,000円の手当が支給されます。

該当すると思われる方は福祉事務所へ照会してください。

若生子)室谷室吉(城町)、荒野はつ(中野1)、前田嗣司(東大月)、中山ます(中荒井2)、米村ゆみ(下麻生島)、中村こん(不動産業)、中山伸栄(松丸)沢田こむめ(吉)、西川つき(菅沼池)堂下たか(同)久保田、



国道158号線の計画決まる

国道158号線の中野・丁地係から、市街地の西南部を通り、県道大野車保線の明治地係を結ぶバイパス道路建設計画が決まりました。

計画によると、総事業費約7億円を投じ、幅員21m、延長4,200m、1.5mの歩道と1mの中央分離帯も設けられ、途中117mのトンネルもできるりばな道路です。昭和45年度より県が施工し、46年度中には2車線が通行できる見通しです。この道路は、真名川ダムの工事資材輸送道路として、また交通量の増大に伴い

野尻議員死去

野尻源議員が9月29日、脳軟化症のため、横枕の自宅で死去されました。74歳。
故野尻議員は、昭和34年から3期市議会議員として地方自治の発展に尽くされ、その間第8代の市議会議長もつとめられました。
ここに謹んでご冥福をお祈りします。

源八(塚原)、伊東金作(同)、三橋さよ(上打波)、大倉りわ(同) このほか有終中学校善意銀行が、夏休み中に作ったおむつ150枚を和光園へ贈り、大野市婦人福祉推進協議会も聖和園を訪問しおむつ作りの奉仕をするなど、多年にわたり社会に貢献されたお年寄りをいたわりました (写真は慰問を受ける米寿者)

今月から「郷土の紹介」を掲載

31回にわたって掲載した「大野の歴史」は8月号で完了しました。
こんどは、福井国体が開催された43年に郷土を再認識してもらう意味で9回にわたって連載した「郷土の紹介」の続編を掲載します。みなさんご愛読・ご批判をお願いします。



飯降山

おたけさんともいいます。泰澄大師の開いた霊山といわれ頂上にまつられている十一面観音等は、行基の作とも伝えられています。

足羽社記に、「振媛をまつる山(ふりがたけ)山は禰語」と記され、飯降山縁起には、「泰澄大師登岳参籠の際食料を求むることなかりしかば、里人天より飯(いい)を降らすにこそと尊み伝へしより…」と書かれています。
天から降るにぎりめしをひとりじめにしよとした尾の語や、荒島岳との



伝説の多い飯降山

十月三十一日までに お納めください。

税の知識

私は納税貯蓄組合に加入していません。納付書は個人で納付しています。今年から固定資産税、市県民税、国保税の納付書は一期分から四期分(ただし国保税は二期から四期)までをそれぞれ納税通知書(税額算定納付書の明細書)といっしょに連記してお送りしてあります。もし納付書を紛失された方は税務課で早急に再交付をうけ納税に間に合わせてください。納税貯蓄組合または区長の手を問わずに個人で税金を納める方のために「納税費」をお渡しし最寄りの指定金融機関では必ずこの袋に保管して、袋に書いてある税目別の納付月には遅れずまた納税の際は納付書と領収書を切り離さずに窓口へ差し出してください。

今月の納税

市県民税(第三期)

初の農業祭 品評会など多彩な催し

みのりの秋ノ 勤労と収穫を喜び合うとともに、大きく変わろうとしている農業の現状をふまえ、新しい農業経営のあり方を考えて大野市農業の向上発展を期そうと、大野市と大野市農協・上田農協の主催で、11月20・21日の2日市市民会館を中心に初めての農業祭を実施することになりました。

収穫を感謝する式典、「日本農業の展開方向」と題した講演会、特産物の展示や共進会、青果物の卸売会、農業機械の展示と実演、生活改善に関した研究資料の展示など意義ある行事を計画していま

す。
富産共進会は10月24日
10月24日農業祭とはひと足先に、乳用牛20頭、肉用牛20頭を一帯に集め、大野市家畜共進会を市民会館横で開催します家畜の改良増殖と畜産知識の普及向上をねらいとしています。この機会に是非ご覧ください。

スマイル……
「共同募金始まる」
ハーバックション
ーニワトリ
コーナー

下庄小講堂を改築 来年3月竣工の予定

危険校舎として改築を望まれていた下庄小学校講堂は、国庫補助を得て改築することになり、9月3日、市長・市副議長・教育長や工事関係者ら30名が出席し



阪谷小にプール

地元の協力を得て阪谷小学校に待望のプールが完成しました。
9月5日、同校児童や地区民が出席してプール開きが行なわれ、市長は「プールを活用してりばな心とからだをきたえてください。」とあいさつしました。
このプールは、着工以来1カ月余というスピード完成で、大きさは25mに8mの4コース、水深80cm、工費は400万円です。

小山小校舎が完成

小山小学校校舎改築工事は9月3日に完成、2学期より、4~6年生の3学級が新しい校舎で勉強しています。
完成したのは、木造半屋建て、瓦葺き普通教室3、教員室1、校長室1で延面積376㎡、工費は857万円です。

市内施設めぐりの参加者募集

市の主な施設や事業を実際に見ていただき、市政に対する理解を深めてもらうとうバスによる施設めぐりを実施します。ご希望の方は13日までに各公民館へ申し込んでください
と き 10月16日(木)
午前8時30分集合 小雨決行
集合場所 市役所前 小雨決行
募集人員 120名(先着順)
弁当は各自ご持参ください。

市報短信

◇食品テストを実施◇
8月27日、県の食品衛生検査車による食品テストが市役所前でなされた。生活学校生や一般消費者が持ち寄った牛乳やしょう油など20品の食品について脂肪度・細菌・色素・防腐剤などが法定どおりであるかどうか科学検査が行なわれた。この結果2~3の不良品があり、保健所から注意や指導があった。
(写真はテスト風景)



◇成人大学を開講◇

市教育委員会では「あすの大野市を築く市民になろう」の学習目標で、男子成人を対象とした成人大学を開講。
9月16日大野公民館で30名の学級生が出席して第1回の学習会を開催。「身近かな亀山にするために」をテーマに、亀山の歴史とビジョンなど活発な意見をかわした。
毎月1回、来年度の3月まで7回にわたって学習する。

◇花壇コンクール1位◇

大和町の愛花グループが県越花壇コンクール一般の部でみごと1位となった。伸びゆく県民運動の一環として提唱されているきれいな環境づくりを、町内のグループが力を合わせて実行した偉い結果がこの栄誉となった。
始めは川をきれいにすることから手がけ、さらに道路のふちや空地に花を植え現在、きれいな菊が咲きはこっている。

危険物取扱主任者試験

危険物取扱主任者試験が次のように行なわれます。
試験日時 44年11月7日午前9時半
試験場所 勝山市農協センター
願書提出 10月11日まで、県建設部防
災課まで
予備講習が10月24・25日、勝山市農協センターで行なわれます。(消防署)

こわいガンを防ごう

9・10月の2カ月間は、ガンの征圧月間です。ガンは全死亡順位の第2位を占め全国では5分間に1人の割合で人命を奪う恐ろしい病気です。

対策としては、ガンを初期のうちに発見することが大切です。このためには検診車による胃の集団検診や、毎週金曜日福井新聞会館での「ガン無料相談室」などをご利用の上、早期発見。治療に努力することが最良の方法であり、特に35才以上の方には大切なことです。

交通事故の診療は

市へ届け出を

国民健康保険の加入者が、交通事故で保険診療を受ける場合には保険衛生課へ届けをしてください。

祝祭日にはゴミを 出さないでください

ゴミの収集日が、祝祭日にあたる場合は、収集を休みますからゴミを出さないで次の収集日までお待ちください。

狂犬病予防注射を実施

10月2日～16日まで、地区ごと2・3会場にわけて狂犬病予防注射を実施します。飼い主は必ず受けさせてください。

手数料は、登録料 300円 (未登録犬のみ)。注射料200円。注射済証60円。

秋の全国交通安全運動

10月6日～15日

みんなで交通事故をなくそう

行政相談所を開設

福井地方方法務局・福井行政監察局・行政相談委員・大野市の共催で、大野合同行政相談所を開設します。

国・県・市の行政機関、国鉄・電信電話公社など公社公団への苦情・相談・意見などを、どこへ申し出たらよいかかわからない方は、気軽なおいでください。取り扱いは無料、秘密はお守りします。

日時 10月16日(木) 午後1時～4時
場所 市役所談話室

インフルエンザ予防接種日程

10. 9	1.50～2.10	木の本分校
16	1.50～2.10	〃
17と24	{ 1.30～1.40 2.00～2.10	宝慶寺小学校 若生子小学校
22と29	{ 1.00～1.20 1.30～1.40 1.45～1.50 2.00～2.20	勝原小学校 下打波小学校 嵐 口 打波小中学校
28	1.30～2.00	森目小学校

家庭内の心配ごとは

家庭裁判所へ

家庭裁判所は昭和24年に発足、ことしは満20周年にあたります。

裁判所という名のため、こわいところだと思っている方もありますが、家庭裁判所は、なごやかなうちに手続きを進める明るく庶民的な裁判所で、大野市にもあります。家庭内のこと、少年の非行化などで悩みや心配ごとのある方は、気軽にご相談ください。

昨年1年間に相談に訪れた方は30万人にのぼっています。(福井家庭裁判所)

10月



社会体育

コナー

- ◎ 県スポーツ少年団大会参加 5日 午前10～午後3.30 福井運動公園他
- ◎ 上庄地区婦人バレーボール大会 5日、午前8～上庄小・中学校
- ◎ 乾側地区体育大会 10日 午前 8.30～ 乾側小中学校
- ◎ 富田地区体育・相撲大会 10日 午前9～ 富田小学校
- ◎ 第1回市お母さんバレーボール大会 12日 午前9～ 市営コート
- ◎ 第2回市レクリエーションバレーボール大会 19日午前9～市営コート
- ◎ 長崎国体大野市出身選手壮行会 21日 午後2～ 大野市役所
- ◎ 阪谷地区体育大会 中旬阪谷小学校
- ◎ 富田地区荒島登山 26日午前9～

受け付け期間を延長

住宅金融公庫の貸し付け

住宅金融公庫では、一般個人住宅・農山漁村住宅の受け付け期限8月31日を、12月27日まで延長することになりました。また、住宅改良工事等の第2回目の資金借り入れ申し込みは10月15日まで受け付けます。

対象となる建物、貸し付け金の額や条件については、建設課でお尋ねください。

〒番号簿全国版を無料配布

郵便番号記載率の向上をはかるため、9月中に市内全家庭へ全国版を無料でお届けしました。郵便物発送の場合にはぜひ〒番号をご記入ください。

なお、まだ全国版が届いていないご家庭は早く大野郵便局へお申し出ください

のなかで、人間の寛大さ、心のあたたかさユーモアをおりませ、おじいさんと孫たちの間柄を作者は深い人間愛を持ったまなざしで描いている。▼この本の作者も述べているが、われわれが生活して行くうえにはいろいろなトラブルもおこる。若い人にも、老人にもそれぞれすききらいや、別々の期待と不安がつきまとう。将来への計画ともなればなおさらである。だからいかにそれを解決していくかが問題である。▼十月は秋気いよいよ澄んで灯火親しむ候である。おとなも子どもも共通してわかっている本はたくさんある。それは親と子の心の対話の媒体となるものである。良書紹介をかねて……

「日本語版「われらの村が「すむ」を書きあげた。この小説はオランダでたいへんな評判をうけ、イギリス、アメリカ、ドイツ、デンマーク、ブラジル、ポルトガルなどの国々で訳され国際的に知られた作品となり、ドイツでは児童図書大賞をうけた。▼物語は自分たちの村から立ちのきたくないという住民のしめす絶望的な抵抗のなかで、パスカン家のペベジいさんもあくまで祖先伝来の土地から離れたがらない。孫のピエールたちは新しい生活を求めて再出発しようとする。そのなかで、人間の寛大さ、心のあたたかさユーモアをおりませ、おじいさんと孫たちの間柄を作者は深い人間愛を持ったまなざしで描いている。▼この本の作者も述べているが、われわれが生活して行くうえにはいろいろなトラブルもおこる。若い人にも、老人にもそれぞれすききらいや、別々の期待と不安がつきまとう。将来への計画ともなればなおさらである。だからいかにそれを解決していくかが問題である。▼十月は秋気いよいよ澄んで灯火親しむ候である。おとなも子どもも共通してわかっている本はたくさんある。それは親と子の心の対話の媒体となるものである。良書紹介をかねて……

運命にある。各新聞は、その間の事情を大きく報道し、過疎化すすむ日本農村の衰微と、押しよせる時勢の巨大な歯車をからみ合せて問題を投げかけている▼ところがこうした問題はひとり日本だけのものだろうか。すでに数年前、オランダのアン・ヒルヘルス・ファンデル・ルフ夫人は、フランスのある山村がダム建設のために湖底に沈められた事件をもとにした小説「Neverdrinken. Onsdorp」。



さきに大野郡和泉村の大半と西谷村の一部がダムの湖底に沈んだ。さらに西谷村の中島、両笹又、当市の両若生子も遠からず湖底に沈む運命にある。各新聞は、その間の事情を大きく報道し、過疎化すすむ日本農村の衰微と、押しよせる時勢の巨大な歯車をからみ合せて問題を投げかけている▼ところがこうした問題はひとり日本だけのものだろうか。すでに数年前、オランダのアン・ヒルヘルス・ファンデル・ルフ夫人は、フランスのある山村がダム建設のために湖底に沈められた事件をもとにした小説「Neverdrinken. Onsdorp」。